教育活動に尽力、芝直彦さんに栄誉

◎平成20年度高齢者叙勲

国や公共のために功労のあった88歳以上の方を対象とする高齢者叙勲の発表があり、本町から芝直彦さん（小倉）が瑞宝双光章を受章されました。

芝直彦さんは、昭和17年3月に朝鮮公立実業学校に奉職され、昭和19年6月の召集により一時教職を離れるも、昭和22年4月に泉村立泉中学校教諭として復職。以後、北宇和郡内の小中学校の教諭、教頭、校長を歴任し、昭和54年3月に退職されました。

この間、戦時中の激動と混迷の教育界にあってひたすら教育の道に邁進し、郷土の教育の発展に献身的に努められました。今回の受章は、長年にわたる教育活動が評価されたものです。

5月28日に行われた伝達式には、県と町の職員が自宅を訪問。渡部敏夫南予地方局長が「長年にわたる学校教育の分野に尽くされた功績により天皇陛下から勲章を授与される栄誉につかれました。ここに、謹んで授与いたします」と述べ、賞状と勲章を手渡しました。

芝さんは、これまでの教員生活を振り返りながら「3度の学校統廃合を経験し大変でした。このような章をいただき、ありがたい思いでいっぱいです」と受章の喜びを語られました。

日吉いのうえチームが初優勝

◎第5回香北さくらカップペタンク大会

左から山内さん、井上さん、葛本さん

4月6日、高知県香美市香北町で開催されたペタンク大会で、本町から出場した日吉いのうえチーム（井上征廣、葛本明美、山内富美子）が優勝を果たしました。

大会には中四国地区を中心に強豪62チームが参加。午前中の予選はダブルスとシングルで争われ、午後から上位チームによる決勝リーグが行われました。

日吉いのうえチームは、予選と決勝の7試合全てに勝利するなど勝負強さを発揮。この大会では過去3位が最高だっただけに嬉しい初優勝となりました。今年初の大会を最高の結果で飾り、幸先の良いスタートを切った選手の皆さん。今後の更なる活躍が期待されます。

勝利を目指して全力プレー

◎第4回鬼北町球技スポーツ少年大会

鬼北スポーツ少年団

広見ミニバスクラブ

5月28日、鬼北総合公園で鬼北町球技スポーツ少年団大会があり、町内のスポーツ少年団6チームが参加しました。大会は、ソフトボールとミニバスケットボールに分かれて行われ、選手が熱戦を繰り広げました。

▼ソフトボール優勝　鬼北スポーツ少年団／2位　好藤・愛治スポーツ少年団

▼ミニバスケットボール優勝　広見ミニバスクラブ／2位　好藤スポーツ少年団